

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18

労働会館第2ビル

TEL 052-871-5433

発行人 見崎徳弘

第56号 1997年9月30日

愛労連第17回定期大会

特集号

対話と共同・もっと広げよう



愛労連は、9月6日・7日、名古屋市内の中村区役所ホールで、第17回定期大会を開催し、代議員など約160名が参加しました。

労働者・国民の生活が悪化する中で、怒りを組織し、要求実現に向けて、職場・地域から共同の流れを大きくしようと決意あふれた大会となりました。

愛労連第17回定期大会

まともな労働組合の飛躍を



井上議長あいさつ (要旨)

だ。組織建設はこれからの課題だ。この一年間、労働相談110番には二〇七件の相談が寄せられた。困った時に頼りにな

全労働者を視野に、たたかいを

愛労連を結成して八年。親しまれ、頼りになる十万人愛労連をつくるうその基調と目標のもと粘り強くたたかってきた。行革の嵐やリストラ攻撃など正規雇用の減少の中、労働者のおかれては厳しい状況を反映し、十万人愛労連めざし頑張ってきたが、一進一退

議長団には、原田寛(東三河労連)と河原正幸(運輸一般)の代議員が選出されました。冒頭挨拶に立つた井上利雄議長は、「労働者・国民の状態悪化の中で愛労連への期待は強まっている。総対話・共同の流れを大きくし、愛労連運動の飛躍を」と呼びかけました。

二日にわたり来賓として、太田義郎愛商連会長、吉村吉夫日本共産党愛知県委員会委員長、名古屋大学助教授で本秀紀憲法会議事務局次長、堀場英也保険医療協会会長から激励挨拶を受けました。東京から駆けつけた小林洋二全労連議長

阿部事務局長から、総対話と共同で労働者・国民の要求実現をめざすことを運動の基調に、①労働者の生活と権利擁護、②国民本位の行財政確立、③改憲策動の阻止・平和と民主主義の擁護、④十万人オールド大運動の展開、⑤十万人愛労連組織建設などの運動方針が提起されました。二日間わたる討議で、四八名の代議員が発言しま



大会宣言を読み上げる大橋幹事

私たちは、この一年、広範な労働者・労組・団体との「総対話」をすすめて、労働者・国民の切実な要求での共同行動の拡大を追求してきた。そして、この二日間の大

「オールド」は、憲法を無視し、沖縄の永久基地化をすすめる「特別措置法」改悪、消費税の増税、医療保険制度の改悪、女子保護規定の撤廃など、平和を脅かす国民いじめの悪政を積み重ね、さらには橋本内閣の「六つの改革」やアメリカの戦争政策への協力を強める「ガイドライン」を見直しと有事体制の策動、「憲法制度調査委員会」設置に見られる明文改憲など国民への大がかりな攻撃を強めている。愛知でも自然破壊の万博や新国際空港などゼネコン行政をおすすめ、県

大会宣言

九八国民春闘勝利をめざし、切実な要求をしっかりとぎって、「大規模要求アンケート」に全力をあげよう。

男女平等と共通規制など働く人々の確立で労働者の雇用と権利を守ろう。年金と医療保険の抜本的改悪と国民の願いを逆手にとった介護保険法案を阻止しよう。「行革」・規制緩和・自治体リストラに反対し、住民本位の行財政をすすめる。

「安保優先」から「憲法をくらしに生かす」日本へ転換させよう。組織の拡大・強化へ全力をあげ、十万人愛労連を実現しよう。

以上、宣言する。
一九九七年九月七日
愛知県労働組合総連合
第十七回定期大会

判、それに引き続き大長清洲町長の誕生など革新・民主自治体の前進、東京都議会議員選挙で唯一都民生活を守る立場で奮闘してきた日本共産党の躍進などまともな政治の実現を願う流れは大きく発展

している。

職場では、大企業による過激なリストラ「合理化」に加えて賃金抑制が長期化している。財界の「二十一世紀戦略」を後押しする「連合」の労資協調路線が

や反共主義、特定政党支持路線が労働者の中で急速に力をつけている。私たちの呼びかけにこたえて共同行動に立ち上がる労働者・労働組合が増えている。広範な労働者にとって、要求を大切にす、まともな労働組合の確立が切実なものとなっており、労働組合運動も大きな前進のチャンスを迎えている。

大会は、あらゆる労働者・労働組合との「対話と共同」を改めて強調し、橋本内閣がすすめる労働者・国民いじめを許さず、「人間らしく生き、働く、社会を求め生きる生き生きとした活動へ」「総対話と共同・十万人オールド」大運動を確認した。

すべての組合員が「これなら私にもできる」活動に参加し、愛労連の組織の総力を結集することを申し合わせた。

みんなが参加・10万人オolg大運動

仲間増やし要求実現!

〔三面からの続き〕



組合員 金子川代 年 中

北海道でおこなわれた第十一回高齢者大会は、愛知から百二十名が参加し、社会保障総改悪に対する怒りの集会だった。大会では、現役世代が、要員にも大会にも参加した愛知方式が、全国で語られ、高齢者問題は現役の問題であるということが確認された。



JMIU 大津代議員

産業空洞化を考えるシンボを学者、労働者に加え、今年には経営者、行政をまねいてやった。「連合」にも呼びかけ、参加もあった。中小企業の経営者は、「競争社会の尺度だけではないのか」と疑問を、トヨタの労働者は、「海外進出がすすみ七千人が人員削減、替わりに女性労働者や派遣



東三河 尾崎代議員

地域の労働者の状況は厳しく、労働相談が相次いでいる。労働相談で関わりの会った人には、地域労働の催し案内を送り、地引き網には五家族が参加するなど、つながりをつけてきている。



ター内 中代議員

助成金問題では、名古屋に「連合」と同様に各地連にも出すよう交渉しているが、断わられている。文書公開請求をだし開示させた。それを見ると、連



自治労連 大橋代議員

八九年の労戦再編時、名古屋市職労で自ら主人公としてオolg大運動に入っていた。十万人オolg大運動のルーツはこと聞き、いつそ頑張る決意をした。通常国会では悪法が次々と成り立、ナショナルセンターの出番を感じさせた。



医労連 加藤代議員

医療保険改悪反対のたたかいでは、全国で二千八百万の署名が集まり、国民的大闘争となったが、労働者の頑張りが見えなかった。九月一日の受診は、いつもの七割程度だった。年寄り「五千円で見てくれ」と窓口に来たという報告もされた。命を賭しては、命が危ない。



建設一般 都築代議員

エレベーター、エスカレーター、の保全会社に勤務。第二組合の中で活動してきたが、七月に建設一般HBU支部として組合結成。四十五歳で退職、賃金三十%ダウンで子会社へ転属。出向したくないとの職場の



運輸一般 堀川代議員

この一年、組織拡大で三つの組合が誕生し、百数名増えた。一つは労災事故がきつかけで、二つは五年連続の賃金ダウンに怒り、運輸労連のチラシをみたが、頼りになるのは運輸一般だと相談があった。三つめは従業員から信頼の厚い取締



愛高教 水谷代議員

昨年日没寸前の青年部と発言したが、今年はまだ真夜中だが、光が一筋さし込んでいる状況。スプリングジャンプに若い組合員の参加があった。青年対策で気軽に読んでもらえ、組合のことも解る月刊誌ルポを発行し始めた。新入組合員のうち約半分



福保 仲野代議員

星崎保育園・山田保母の労災認定は局面にある。署名にご協力を。保育環境は、まだ労災が出る状況なのかという労基署の認識。労災、過労死、不当解雇を許さない前提に「健康を守る取り組みの強化を」。



全国一般 黒島代議員

地労委裁判は、山場にきている。十月八日は、証人採用打ち切りか、さらに採用の重大な裁判。沢山の傍聴をお願いしたい。



婦人協 安達代議員

女性部では、運輸一般十万人建設をめざし、バスガイドの組織化に向けて取り組みを始めた。

阿部事務局長 総括答弁 (要旨)



要求で団結し 運動の前進を

この一年間、「総対話と共同」の運動が大きく広がり、この運動を通じて労働者・国民と要求でしっかりと団結し、運動の前進とたた

かう展望を持つことができたら。さらに「総対話と共同十万人オolg」大運動を全組合員で取り組み、愛労連運

建設の問題、国民本位の公共事業の在り方、産別の地域労働に果たす役割など。幹事会でさらに方針を練り

ナマコン支部、企業閉鎖から五年。全国的に愛知が一番合理化が激しい。労働条件切り崩しの為、運輸一

三十四期では、五たび「連合」独占を許さないた

昨年、「パート集会」をやった。未組織の人も含めて七十人集まり、元気がでる取り組みとなった。今年

二年間、女子保護撤廃反対の運動をよく頑張った。網の目学習会、「連合」労働組への申し入れ行動、月一回の宣伝行動、国会議員への申し入れなど、労組の枠を越えた共同の広がりを



生協 山口代議員

「愛と平和コンサート」を取り組む中、皆で作りに上げる喜びを体感し、組合がおもしろくなってきた。青年は学へ、仲間ができて、成長できる場を求めている。青年が主体的に力を発揮できる場をつくらう。



婦人協 伊藤代議員

二年間、女子保護撤廃反対の運動をよく頑張った。網の目学習会、「連合」労働組への申し入れ行動、月一回の宣伝行動、国会議員への申し入れなど、労組の枠を越えた共同の広がりを

役員を退任されたみなさん ごくろうさまでした

- 議長 井上 利雄 (自治労連)
- 副議長 駒田 富枝 (婦人協・自治労連)
- 幹事 鶴野 武 (タクシー協議会)
- 佐藤 利和 (全動労)
- 谷藤 賢治 (運輸一般)
- 根村 浩二 (JMIU)
- 本多 一郎 (生協労連)
- 的場 忠則 (建設一般)
- 水田 清一 (瑞穂区労連)



井上議長



駒田副議長

ガイド情報満載の会報を作り、観光バスが集まる長島温泉や海老煎の里に出向き対話した。反応が良く、ことう活動がまたたいてい

名古屋市長選挙では、「すてきな名古屋をつくり隊」を組織し元気が上がったが、県レベルまで活性化させるに至らなかった。

リストラのしわ寄せが青年にまで及び、職場で元気がでない青年の姿が、実態アンケートに出ている。学習を強化し、展望をみいだしたい。親組織も青年問題を全面にすえて、取り組んで欲しい。

女子保護規定は撤廃されたい。前回は上回る規模で申し入れをやる。